平成19年度（対18年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　19　年　5　月　22　日

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	石神　精吾	電話	481-0306

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	3994	事務事業名称	青少年交流事業	短縮コード	経常	3994	臨時	3995

予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	11	青少年対策費

区分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	・八千代市補助金等交付規則・釧路市･八千代市少年少女スポーツ交流事業補助金交付要綱

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

ブロンズ像友好釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会は，市民が村上橋ブロンズ像設置運動を展開する際，釧路市の幣舞橋ブロンズ像設置の市民運動の経験を参考にさせてもらったことがきっかけで始まった。平成18年度で第25回を迎えた。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会に関しては，昭和57年に始まり，当初は少年野球のみの交流であったが，昭和59年にサッカー，平成14年度からミニバスケットの種目が加わり，現在3種目の大会となっている。なお，運営については実行委員会を立ち上げ，大会を行っている。厳しい財政状況の中で，市としての支援が苦しくなることが考えられる。

総合計画の施策体系

５本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして
大項目（節）	03	青少年健全育成
中　項　目	01	青少年健全育成
小項目（施策）	02	青少年健全育成事業の推進
細　項　目	01	学習機会の充実
実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

2．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	●補助金交付先 ○釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会実行委員会
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと: ○ブロンズ像友好釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会:実行委員会を組織。北海道釧路市へ少年野球2チーム，少年サッカー1チーム，ミニバスケットボール男女各1チームを派遣し，交歓試合や交流会など交歓大会を行った。 ※平成19年度に計画していること: ○ブロンズ像友好釧路市･八千代市少年少女スポーツ交歓大会:実行委員会を組織。北海道釧路市から少年野球2チーム，少年サッカー1チーム，ミニバスケットボール男女合わせて2チームを招待し，交歓試合や交流会など交歓大会を開催。
意図（何を狙っているのか）	子ども達の視野を広め，技術の向上を図るとともに相互の親睦を深め，もって両市の親善を図る。
結果（どんな結果に結びつけるのか）	子ども達の視野を広ることができ，技術の向上を図ることができるとともに相互の親睦を深めることができ，もって両市の親善を図ることができる。

区分			単位	１７年度	１８年度		１９年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	釧路市・八千代市少年少女交歓大会実行委員数	人	15	9	9	9
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会実行委員会補助	千円	2,300	2,300	2,300	1,800
	指標２	釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会実行委員会会議	回	4	3	4	4
	指標３						
成果指標	指標１	釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会の参加者数	人	83	100	93	100
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	3994	事務事業名称	青少年交流事業	所属名	青少年課

			単位	１７年度	１８年度		１９年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	2,316	2,534	2,485	1,800
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			○同名八千代少年サッカー交歓大会記念ボール15,120円○釧路市・八千代市少年少女スポーツ交歓大会2,300,000円	○普通旅費234,000円○補助金2,300,000円	○普通旅費184,300円○補助金2,300,000円	○補助金1,800千円
人件費(B)			千円	13,998.7	20,964.4	11,725.8	11,725.8
トータルコスト(A)＋(B)			千円	16,314.7	23,498.4	14,210.8	13,525.8

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	交歓大会を行うことにより，スポーツの技術向上のみならず相互の親睦を深めることができ，青少年に社会性を備えさせることができる。また，この大会のための準備において，青少年自らが自己目的を持ち，実現させるための自主性を備えさせることができる。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	これまで数多くの小学生が参加し，技術の向上及び相互の親睦等に大きな成果を挙げており、また，両市の親善を図ることができている。今後も多くの小学生に経験させることにより，青少年健全育成の推進を図ることができる。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	自治体の交流事業であるため，民営化で実施することはなじまない。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	少年スポーツ関係団体により実行委員会を組織し，両市の交流とともに青少年健全育成を図るために実施している。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☑ 可能性がない	派遣・招待とも多くの経費が必要な事業であるが，現在，最低限の経費により実施している。
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 臨時的任用職員等の活用 ☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称 1：　　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　　実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある ☐ ない	

コード	3994	事務事業名称	青少年交流事業	所属名	青少年課

今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☑ 現状のまま継続	1年ごとに会場を移して実施しており、実行委員会を立ち上げて補助金を交付している。今後も現状のまま継続予定。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費 削減	経費 不変	経費 増加
成果	向上	☐	☐	☐
	不変	☐	☑	☐
	低下	☐	☐	☐

現状のまま継続する予定であり、コスト･効果とも変化はない

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

なし

所属長コメント	スポーツ活動は単に体力を養うだけでなく、生涯を通じてのスポーツ活動の基礎を培う上で極めて重要であり、又広く人間形成の上においても大いに役立つといわれる。このようなスポーツを愛好する子供たちが、スポーツ交歓大会を通じて友情を深め、自然や習慣の違い等に触れるなどして青少年の健全育成が図れた。
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☑ 現状のまま継続 担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。